

○基本的な考え方

このガイドラインは、国の専門家会議が提言した「新しい生活様式」の実践例である3密（密集・密接・密閉）の回避、身体的距離の確保、消毒や換気の徹底等を元に作成したものである。

新型コロナウイルス感染症が収束するまでの間、レジャープール オーロラにおいて、このガイドラインで示した対策を講じることとする。

○感染予防策

【施設における予防策】

① 3密（密集・密接・密閉）予防策

- ・常時換気扇を使用するとともに、定期的に窓を開けて換気を実施する。
- ・3密が避けられないと判断された場合は、最大入場者数の約50%を基準に入場制限を実施する。

② 飛沫感染予防策

- ・受付窓口には飛沫感染防止シートを設置する。

③ 接触感染予防策

- ・多くの利用者が手を触れる箇所（券売機、ドアノブ、洗面台（蛇口）、ベンチ、ロッカー等）は定期的に消毒を実施する。
- ・玄関やその他館内の適切な箇所に利用者用の消毒液を設置する。

④ 従業員の感染予防策

- ・就業前の検温を実施する（発熱37.5度以上等、体調に異変が見られる場合や従業員の家族等、同居者に感染者や感染者への接触があることが判明した場合は、出勤停止とする）。
- ・手洗い、手指消毒を徹底・強化する。
- ・マスクを着用する。

【利用者における予防策】

① 健康状態の確認

- ・風邪のような症状、発熱(37.5度以上)や咳・くしゃみなどの症状、強いだるさや息苦しさなどがある方やご自身の体調に不安がある方は入場を控えてもらう。
- ・入場者全員に検温してもらう。
- ・代表者には、チェックリストに名前、連絡先、入場者数を記入してもらい、同行者への連絡がとれるようにしてもらう。

② 3密（密集・密接・密閉）予防策

- ・入場者には、できるだけ更衣室の利用を避けてもらい、水着でのご来場をお願いする。
- ・更衣室やプールサイドにおいては、他の利用者と1～2m程度の間隔を空けてもらう。
- ・更衣室のロッカー棚は間隔を空けて使用してもらう。
- ・更衣室の使用時間を手短かにしてもらう。
- ・なるべく長時間の利用は控えてもらう。
- ・施設利用後においても、3密（密集、密閉、密接）を避ける。

③ 飛沫感染予防策

- ・来館時はマスクを着用し、咳エチケットを心掛ける。
- ・不要な会話、遊泳時では大声を控える。
- ・遊泳時、食事以外は、なるべくマスク着用をお願いをする。

④ 接触感染予防策

- ・入館時は消毒液による手指の消毒を実施する。
- ・館内ではこまめな手洗いや消毒を実施する。
- ・遊泳時、食事以外は、なるべくマスクの着用をお願いする。
- ・入場者、従業員と接触距離をできるだけ2m以上確保する。
- ・ビート版、スライダー用補助浮き輪（未就学児用）、ヘアードライヤーの貸し出しはしない。

○新型コロナウイルスに対する正しい情報の掲示、情報収集

- ・咳エチケット・正しい手洗いの利用者への啓蒙。
- ・近隣の感染状況等、正しい最新情報の把握。国、県、町等の発表情報を随時確認。

○感染者情報に接した場合（保健所からの通知・本人からの申告）

- ・従業員や利用者に感染者が出た場合は、即時に南魚沼保健所（帰国者・接触者相談センター）へ報告し、指示に従う。また、町に報告する。
- ・施設感染が発生した際の専門業者による施設の消毒に備え、既存取引業者から対応の可否を確認しておく。
- ・従業員の家族等に感染者が出た場合、従業員が濃厚接触者である事が疑われる、または新型コロナウイルス感染症と疑われる症状が見られる場合は、南魚沼保健所（帰国者・接触者相談センター）に連絡し、指示に従う。また、町に報告する。

南魚沼保健所（帰国者・接触者相談センター）

平日 8:30～17:15、土・日・祝日 9:00～17:00

TEL:025-772-8142

FAX:025-772-2190

夜間緊急連絡先（上記時間以外）

[TEL:025-772-2600](tel:025-772-2600)